

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~1日	4月 ~8日	4月 ~15日	4月 ~22日	4月 ~29日	5月 ~6日	5月 ~13日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	19	18	20	29	19	8 (12)	31
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	21	21	19	15	22	4 (7)	30
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	0	0	2	1	2	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	6	6	2	7	3	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	2	3	1	4	2	1	5
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	0	2	1	0	0	0	1
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	6	12	16	9	7	4	3
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	1	2	1	0	0	0	3

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

\* その他の1件は、アエロモナスでした。

## 広島県感染症発生動向週報

平成30年第19週(5月7日~5月13日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8	1		1		5		1	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2		1					1	
四類	7	A型肝炎	1					1			
		日本紅斑熱	2							2	
		レジオネラ症	4			2		1	1		
五類全数	15	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1			
		後天性免疫不全症候群	2								2
		侵襲性インフルエンザ球菌感染症	1					1			
		梅毒	1							1	
		百日咳	9		4				1		4

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

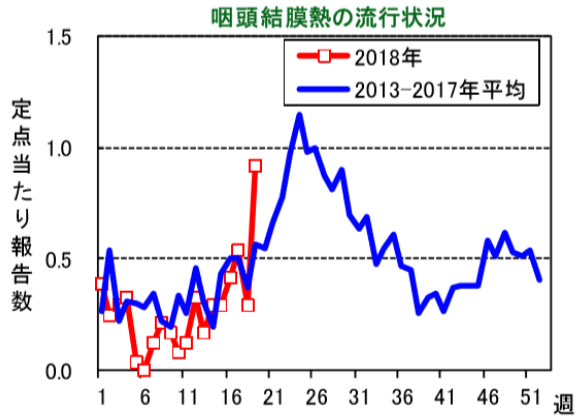
広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第19週 5/7~5/13)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 咽頭結膜熱

定点当たり0.92人の報告がありました。  
咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、手足口病、ヘルパンギーナとともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。5~7日の潜伏期間の後、発熱、のどの痛み、結膜炎などの症状が出現します。  
例年この時期から夏季にかけて増加しますので、今後の動向に注意が必要です。  
手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。



前週(第18週)は、ゴールデンウィーク期間中の医療機関休診の影響があるため、第19週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第17週)との比較で行っています。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	12	0.32	0.62	▲	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.68	○
	咽頭結膜熱	22	0.92	0.57	○		RSウイルス感染症	4	0.17	0.13	○
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.42	2.00	○	眼科	急性出血性結膜炎	2	0.25	0.03	○
	感染性胃腸炎	208	8.67	7.78	○		流行性角結膜炎	6	0.75	0.47	▲
	水痘	4	0.17	0.72	○	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	○
	手足口病	11	0.46	0.90	○		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	○
	伝染性紅斑	-	-	0.19	○		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	○
	突発性発しん	16	0.67	0.42	○		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	○
ヘルパンギーナ	8	0.33	0.21	○	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		6	0.86	○	▲	

急増減 ▲ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減  
 増減 ▲ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減  
 微増減 ▲ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減  
 横ばい □ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	57	男性(30歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	A型肝炎	1	1	女性(20歳代)
4	レジオネラ症	1	2	男性(60歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	男性(60歳代)
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	男性(60歳代)
5	百日咳	1	10	男性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.4) 鼻炎	1	女	2018/04/09	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
手足口病	発熱(37.8) 紅斑	2	女	2018/04/04	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
ヘルパンギーナ	発熱(38.6) 咽頭炎 鼻炎	1	女	2018/04/02	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
ヘルパンギーナ	発熱(40.0) 鼻炎	不明	男	2018/04/08	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
流行性角結膜炎	角結膜炎 結膜充血 リンパ節腫脹 眼瞼腫脹	47	女	2018/02/28	結膜擦過物	アデノウイルス85型
流行性角結膜炎	角結膜炎 結膜充血 瞼結膜の発赤	18	男	2018/03/06	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の消化器疾患	嘔吐	0	男	2018/04/02	糞便	A群ロタウイルス
その他の疾患	発熱(38.8) 鼻炎	0	男	2018/04/01	咽頭拭い液	ヒトコロナウイルスHKU1

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載